

JA 営農情報

№332 令和5年 5月号

水稻の育苗作業

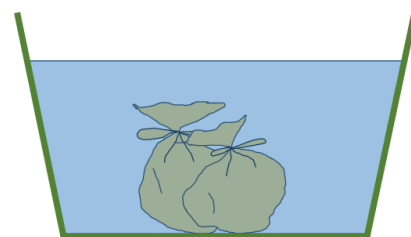
■浸種・催芽

消毒を終えた種もみは、水に浸けて発芽させる工程に入ります。浸種は必ず停滞水中で行ってください。また、下記を参考にしっかり管理しましょう。

浸種・催芽の必要日数（目安）

$$\text{日数（日）} = 100 \div \text{平均水温（℃）}$$

※前年が高温の場合や発芽が不十分な場合は
計算式の「100」を「120」に代えてください。



↑種が水面から出ないように注意！

浸種中は、1日1～2回種もみを水から出して酸素を補給しましょう。また、水が汚れたり濁ったりしている場合は入れ替えてください。（毎日入れ替える必要はありません）

■種まき

床土を予め入れておく場合は、土が乾かないようになるべく種まきの直前に行い、土を入れたら、種まき前にたっぷりと水をかけておきましょう。

播種量は1箱あたり乾燥粃150g（催芽粃180～200g）が目安です。実際にまいてみると少し頼りなく思うかもしれませんが、極度の厚まきはムレ苗や細い苗の原因となるため注意してください。目安として種もみ3kgで20箱程度の苗が作れます。



催芽粃を190g程度播いた苗箱

※種まき時の注意点

種まき後、種が隠れる程度に覆土を行いますが、このときに散水すると粒状の土が溶けて固まり、発芽が阻害されてしまいます。種まきの前に床土にしっかり散水していれば発芽までの水分量は十分足りるので、覆土後は発芽するまで散水しないで管理してください。



水稻用除草剤について

水田雑草は草丈が大きくなってしまうと農薬での防除が難しくなります。水管理と散布時期が重要ですので、以下のポイントをご確認ください。



■散布時のポイント

○水管理……田植後に使用する除草剤のほとんどは水がしっかりある状態で使用します。散布時はもちろん、散布後7日間は特に水管理にご注意ください。

＊『ジャンボ剤』や『フロアブル剤』を使用する場合は水深5cmを確保してください。

○散布時期…除草剤に【移植後〇日～ノビエ△葉期、ただし移植後××日まで】というように使用時期が記載されています。これはあくまで使用できる時期であり、効果が保証されている時期ではありません。”移植後〇日”を基準にし、散布時期が遅くならないようにしましょう。

ご不明点等ございましたら営農経済センター（641-9050）までお問い合わせください。

☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。持込が困難な方については、ご自宅へお伺いして集荷する制度がございます。少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？詳細はみしま館までお問い合わせください。

＊TEL：645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介護相談 随時受付
5月	11日	—	20日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽にお 問い合わせ下さ い。 介護支援センター TEL：627-7767
6月	—	23日	17日	
7月	13日	—	15日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 JA茨木市 各支店	

※コロナウイルス感染拡大防止のため、各種相談会を中止する場合がありますのでご了承ください。



ご利用下さい

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL 641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL 641-9050